



川地支局長(左)、古賀秀一さん(中央)

— 豊野町の古賀秀一さんに法務大臣感謝状 —  
長年の人権擁護活動の功績をたたえて

4/22 人権擁護委員を6年間務めた古賀秀一さん(74)に、法務大臣感謝状の伝達が行われました。これは、地域住民からの人権相談をはじめ、さまざまな人権啓発活動に精力的に取り組んできた功績が認められたもの。古賀さんは「子どもたちと触れ合うことができ、とても有意義な時間を過ごせました。」と活動を振り返りました。



認定証交付を受けた谷川さん(右)

— 上地区自主防災会を結成 —  
自分の地域は自分たちが守る

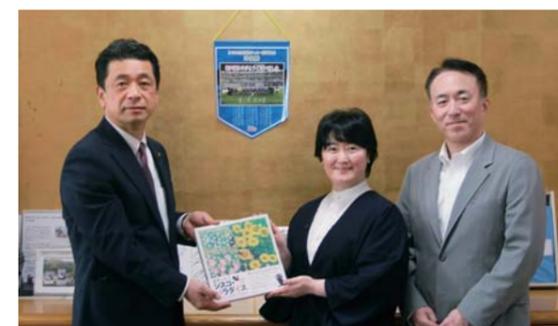
4/21 不知火町上地区が自主防災会を結成し、認定証交付式が市役所で行われました。自主防災組織は、「自分の地域は自分たちが守る」の意識の下団結し活動する集まりで、市内では116組織目。谷川英明会長(63)は「松合は過去に高潮災害で被害を受けた。当組織の取り組みが住民の意識の再向上につながることに期待したい。」と話しました。



一般表彰を受けた吉田さん(左)

— 顧客の命を救う —  
私が助けなくて誰が助けるのかの一心で

4/19 松橋町の吉田玲子さん(54)が人命救助をした功績がたたえられ、宇城広域連合消防本部から表彰されました。吉田さんは顧客宅を訪問したとき、突然意識を失った女性に適切な対処をし、救急車を要請。表彰式後「訪問時は何が起こるか分からない。私自身も日々生きるをテーマに健康に気を付け仕事を頑張っています。」と語りました。



守田市長に作品集を手渡す福迫さん夫妻

— 市内小学校に書籍を寄贈 —  
塔本シスコさんの孫夫妻が市長訪問

4/8 画家、故塔本シスコさんの孫の福迫弥麻さん(48)夫妻が守田憲史市長を訪問。熊本市現代美術館で開催していた展覧会とNHKテレビ番組での放送に当たり、幼少期を過ごした松橋町東松崎区の皆さんや市の協力・応援に感謝の思いを述べました。また、同展で展示した作品を紹介した書籍を市内小学校12校に寄贈しました。



あいさつをする桑村さん(中央)

— 元気をふたたび~手作り作品&マルシェ —  
紡ぐの会主催の初マルシェ

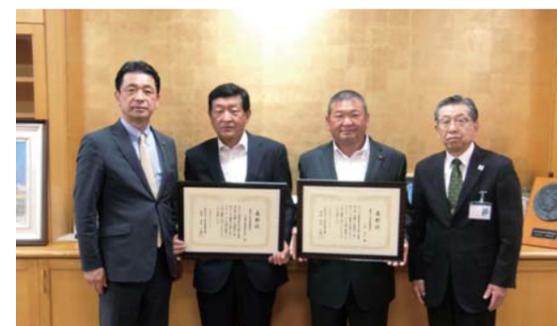
4/29 小川町の風の館塩屋で「わくわく!おがわ手作り作品&マルシェ」が初めて開催されました。これは「紡ぐの会」代表の桑村靖子さん(63)がコロナ禍で沈みがちな気分を打破し、元気になってほしいとの思いから関係者に呼び掛け実現したもの。マルシェには作品展示や地元の店が集結し、たくさんの客が訪れ、にぎわいをみせました。



心地良い音楽の中で行われたレッスン

— 生活習慣病対策の一環として開催 —  
小川支所でヨガレッスン

4/24 イオンモール宇城、桜十字熊本宇城病院と市が協働し、小川支所でヨガイベントを開催。生活習慣病対策の一環として同院の講師がレッスンし、その後さしより野菜オリジナルミュージックが提供されました。市民18人が参加し、参加者からは「理学療法士が講師だったので安心感があった。」と好評でした。



表彰を受けた中山秀光会長と川村委員(中央)

— 県農業会議が農業委員会優良活動を表彰 —  
農地の利用集積部門でダブル表彰

4/21 宇城市農業委員会(中山秀光会長)と農業委員の川村良行さん(60)が表彰を受けたことを守田市長へ報告しました。これは、県農業会議が主催し、積極的な取り組みや実績を収めている委員などを表彰するもの。中山会長は「初めて表彰を受けてうれしく思う。これからも他の委員と共に活動に励みたい。」と意気込んでいました。



小川草心会(右2人)から河江小廣瀬校長へ寄贈

— 河江小学校にイ草座布団を寄贈 —  
子どもたちの笑顔がうれしい

4/19 小川草心会が60枚のイ草座布団を河江小に寄贈しました。これは、同会が地域貢献として15年ほど前から毎年行っている活動。会長の中村栄宏さん(45)は「子どもたちが座布団を使う姿を見るとうれしい。」と話し、廣瀬武史校長(58)は「地域とのつながりを大切にする取り組みをこれからも続けてほしい。」と感謝の意を伝えました。